

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果の分析について（中学校）

綾瀬市教育委員会

（1）調査について

令和4年度全国学力・学習状況調査が、小学校6年生と中学校3年生を対象として、令和4年4月19日に悉皆調査として実施され、国語及び数学、理科について「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」が一体的に出題されました。

この調査結果を本市の児童・生徒の学力・学習の状況を把握する資料の一つとし、今後はこの分析をもとに、指導の改善を図り、学力向上につなげてまいります。

（2）教科に関する調査の平均正答率

中学校	国語	数学	理科
綾瀬市	66	47	45
全国（公立）	69.0	51.4	49.3

（3）本市の強みと弱み

【強み】学習に対する関心・意欲

○質問紙調査からは、国語・数学の学習を「大切である」と回答している生徒が、8割を超えていました。

【弱み】書く（記述する）こと

●全ての教科に関する調査について、記述式で解答する問題が全国平均正答率を下回る傾向があり、無回答率が全国平均を上回る傾向がありました。



生徒の多くは学ぶことの大切さを感じているよ！

（4）確かな学力の向上に向けて

☆綾瀬市型小中一貫教育に取り組み、9年間を見通した系統的な学びを実践しており、確かな学力の向上を図るために、「授業での振り返り」と「家庭学習の習慣化」を推進しています。

☆「ICT支援員」の配置によりタブレット端末を効果的に活用した授業改善に努めるとともに、「学習支援者」の配置により配慮の必要な生徒への学習支援を行います。

☆少人数数学級や少人数指導の実施など、きめ細かな指導体制を進めます。

☆読書の充実を図るために、1人1冊配本事業や学校司書の配置、学校図書館の充実等の読書環境の整備に努めます。

☆「あやせゼロの日運動」「あやせ学びづくり運動」「あやせ夜間ゼロ運動～ケータイ・スマホ・ゲーム機等の夜間ゼロ運動～」を「あやせコミュニティ・スクール」等を通して推進し、家庭・地域との連携を深めていきます。

思いやりと社会を生き抜く力を育む綾瀬の教育



展開中

綾瀬市型小中一貫教育 あやせコミュニティ・スクール

綾瀬市教育委員会

【国語に関する調査結果の分析】 平均正答率 66%



国語問題



国語正答例

【良好であるところ】

○助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使うこと

【言葉の特徴や使い方に関する事項】問題番号2一

○文脈に即して漢字を正しく書くこと

【言葉の特徴や使い方に関する事項】問題番号2二①

○事象や行為、心情を表す語句について理解すること【言葉の特徴や使い方に関する事項】問題番号3二

○漢字の行書の読みやすい書き方について理解すること【我が国の言語文化に関する事項】問題番号4二

【課題であるところ】

●自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すこと

【言葉、話すこと・聞くこと】問題番号1三

●自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと【情報、書くこと】問題番号2三

●場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えること

【読むこと】問題番号3三

【数学に関する調査結果の分析】 平均正答率 47%



数学問題



数学正答例

【良好であるところ】

○簡単な連立二元一次方程式を解くこと

【数と式】問題番号2

○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解していること

【データの活用】問題番号5

○証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解していること

【図形】問題番号9(1)

【課題であるところ】

●自然数を素数の積で表すこと

【数と式】問題番号1

●目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができること

【数と式】問題番号6(2)

●結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができること

【数と式】問題番号6(3)

●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること

【関数】問題番号8(2)

●筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができること

【図形】問題番号9(2)

【理科に関する調査結果の分析】 平均正答率 45%



理科問題



理科正答例

【良好であるところ】

- モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できること
【エネルギー】問題番号1(2)
- 節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと働きを分析して解釈できること
【生命】問題番号4(1)

【課題であるところ】

- 飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できること
【地球】問題番号2(3)
- 力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できること
【エネルギー】問題番号5(1)
- 考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できること
【エネルギー】問題番号5(3)
- 地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせながら、ルートマップと露頭のスケッチを関連付け、地層の傾きを分析して解釈できること
【地球】問題番号6(3)

【生徒質問紙調査の結果の分析】

生徒質問紙



【良好であるところ】

(1) 主に学校に関して

- 国語の学習は将来、社会に出たときに役に立つと考えていること
- 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表すること
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいること
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいること
- 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思っていること

(2) 主に家庭に関して

- 朝食を毎日食べること

(3) その他に関して

- 人の役に立つ人間になりたいと思っていること
- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていること

【課題であるところ】

(1) 主に学校に関して

- 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思っていないこと
- 今回の国語・数学・理科の学習調査で解答を文章で書く問題について、書く努力をしなかったり、途中で諦めたりしたこと

(2) 主に家庭に関して

- 平日の学校の授業以外での学習時間が短いこと
- 自分で計画を立てて家庭学習をすること

ご家庭と協力したいこと！

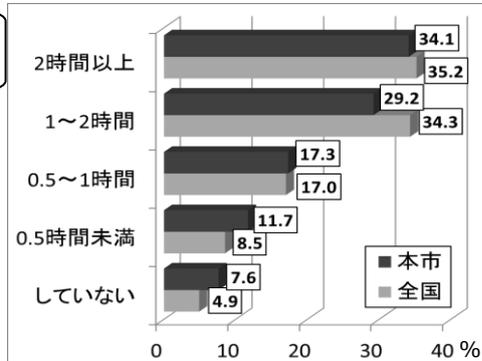
家庭学習の習慣化



グラフは平日の家庭学習時間を表しているよ！

家庭学習に2時間以上取り組んでいる生徒は、全国の割合と同程度となっていますが、あまり取り組めていない生徒もいることがうかがえます。

お子さまが帰宅後の時間の使い方を考える機会をもち、自分で学習時間や内容を決めるなど、計画的に家庭学習に取り組めるよう、学校で取り組んでまいります。ご家庭でも引き続き温かい言葉かけをお願いいたします。



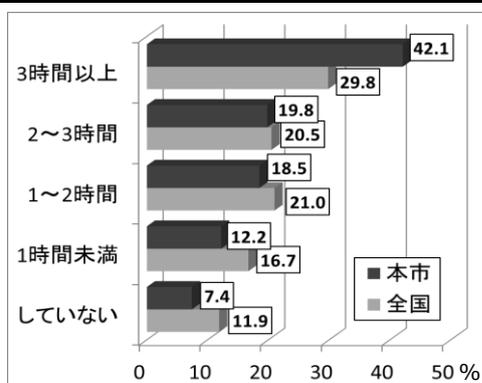
ゲーム等の時間の見直し



グラフは平日のゲームの時間を表しているよ！

平日のゲームの時間が3時間以上の割合が4割を超えており、またスマートフォン等でSNSの利用や動画視聴の時間も全国平均と比べても非常に高いことがうかがえます。

上記の家庭学習の習慣化と関連しますが、時間の使い方を改めて見直し、学校からの宿題以外の学習に取り組んでみたり、好きな本を選んで読書をしてみたりする時間が作れるようにご協力をお願いいたします。



学びの充実・改善のポイント



参考にしましょう！

生徒質問紙調査クロス集計の結果（※教科に関する調査と質問紙調査の相関関係）からは、次に挙げる項目ごとに記載している生徒については、そうでない生徒と比較して、**教科の平均正答率が高い**という結果が出ていますので、参考にしてください。

- 【学習への取組】
 - ☞ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげていると思う生徒 **(振り返りをしている)**
 - ☞ 自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う生徒 **(計画を立てて学習している)**
 - ☞ 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う生徒
- 【家庭学習】
 - ☞ 学校の授業時間以外に、勉強している時間が長い生徒 **(家庭学習をしている)**
- 【読書】
 - ☞ 読書が好きな生徒
- 【生活習慣】
 - ☞ 普段、テレビゲーム等をする時間が短い生徒
 - ☞ 朝食を毎日食べている生徒
- 【自尊意識】
 - ☞ 自分には、よいところがあると思っている生徒
- 【思考】
 - ☞ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思っている生徒